

1 HACCPチームの編成 手順1

HACCPチームの編成は衛生管理の第一歩

HACCP チームの編成は HACCP プラン作成のための第一歩です。このチームが HACCP プラン作成の実行部隊となり、運用・推進の中心ともなります。しかし、HACCP プランの作成のために次のステップに進んだ途端に、すべての従業員が関与しないと前に進めないことに気がつくはずです。

HACCP 構築まではできたものの継続的運用でつまずいてしまう原因に、HACCP チームとチーム以外の従業員間のコミュニケーション欠如があります。HACCP プランを作成して、これを完全に実施していくためには、全従業員が「HACCP で安全を作り上げる」とした意識を持つことが大切です。その一方で、HACCP に適応できる従業員を育てる仕組みが必須なので、この手順1は HACCP チームの編成のみならず、組織的・計画的な衛生管理の第一歩としなければなりません。

HACCP チームの役割

- ① HACCP プランの作成
- ② 一般的衛生管理プログラムの作成
- ③ プラン作成のための製造工程ダイアグラム（フローチャート）、施設の平面図、SOP および SSOP 等の作成
- ④ HACCP プラン実施のための教育・訓練
- ⑤ 検証
- ⑥ 外部査察への対応
- ⑦ 原材料・製品の組成、製造工程等の変更の把握及びそれに伴う HACCP プランの見直し、修正または変更
- ⑧ 検証結果に基づいた HACCP プランの見直し、修正または変更
- ⑨ 食品衛生に関する新たな情報に基づいた HACCP プランの見直し、修正または変更

HACCPチームのメンバーと構成

HACCP チームの役割を見ると、生産施設の営業許可申請または更新で届け出る「食品衛生責任者」または「食品衛生管理者」は、実務面で最適な人材ということができますので、まず最初に任命しなくてはならないメンバーです。

HACCP チームに求められる業務を成し遂げるためのメンバー構成をどうするかはとても重要です。チームではすべての業務が把握できるようにするので、チームのメンバーには原材料や製造方法、施設・設備の取り扱いと保守・保全、原材料から製品・工程・消費にいたるまでの品質管理・品質保証など、それぞれ実務に精通した人を選出することが一般的です。すなわち、HACCP チームは自社製品の安全に関わるすべての情報を掌握し、運営する技術と能力が兼ね備わっていかなければなりません。とても個人1人で対応できるものではありません。だからチームなのです。できるだけ多くの部門の人が集まるとさまざまな視点で検討することが可能となり、決めたことが各部門に反映されやすいというメリットが生まれます。

HACCPチームのリーダー

HACCP チームのメンバーは実務者とチームリーダーで構成されます。リーダーが実務を兼ねることもできます。ただし、リーダーの最も重要な仕事は、チームが円滑に活動できる環境を作り、決めたことを業務命令として全従業員に周知することなので、それには経営者が好適です。経営者とは社長だけを指すものではありませんが、経営資源、すなわち「ヒト」「モノ」「カネ」に関する決定権を持った者がリーダーとなるないと、手順を円滑に進めることができます。



調整役を担う人材は必須

第3章第1節で手順0「経営者のコミットメント」が大切であることを学びました。手順0とはHACCPのチームを作る前に、経営者が「当社は食の安全性を確保するための国際的手法であるHACCPを導入する」と社内外に高らかに宣言してキックオフすることです。このように経営者が宣言した場合に付き物なのが、意見の対立や負担増といった問題です。特に生産・管理に携わってきたベテランの従業員の理解を得ることは簡単ではありません。そこで、HACCP導入の際には、経営者と直接に交渉できる調整能力を持った人員を確実にメンバーに入れておくべきです。

専門知識の入手方法

例えば、微生物や化学物質などHACCPに関する専門的な知識を持った人がいない場合は、その領域だけ必要なときに外部の専門家のサポートを受けることも考えましょう。また、外部の専門家に限らず、専門書やHACCPに関する情報を提供している公的サイトで適切な情報を入手することが可能です。ただし、自社の製品の特性や製造工程、装置の癖などは外部の専門家でさえわからないと考えるべきです。専門家はあくまで補助としてチームのメンバーとすることが肝心です。

HACCPチームの構成は自社事情が最優先

1人ではHACCPチームと呼べるかわかりませんが、社長をチームリーダーとし、実務者は1人というメンバー構成は成立します。一般的に望ましいチーム構成というのはあっても、「その構成にならないからHACCPの手順に進めない」とするものではありません。HACCPチームの構成例を図に示しますが、この例に限らず、自社事情は最優先されるべきです。重要なのは、必要な情報を持ち寄ることができる社内ルート、例えば、ベテランのパート従業員からの情報などをチーム内で共有されることです。

●HACCPチームの構成例

チームリーダー例えば、取締役工場長	
事務	生産
品質管理担当者（責任者）	各工程管理担当者（責任者）
商品開発担当者（責任者）	原材料等購入担当者（責任者）
販売担当者（責任者）	
総務・経理担当者（責任者）	
外部コンサルタント	

HACCPチームの目的は危害要因分析のための情報入手

HACCPチームの特徴や求められる役割の多さを先に学びましたが、最大の目的は、手順6原則1「危害要因分析」を確実にするためのものです。危害要因分析に必要な情報を手に入れるためのチームです。その適任者は一概に「このような気質の持ち主」「このような経験の持ち主」とするようなものではありませんが、ベテラン従業員からの情報は貴重であっても、ベテラン故に、不都合な状態が普通になって気がつかないとした欠点があることに注意すべきですし、新人だから「気がつかない」ではなく、新人だから「気がつく不具合」を見出せるとした側面もチーム編成にあたっては考慮すべき事柄といえます。このような視点からは、可能であればHACCPチームのメンバーに顧客からのクレーム対応の経験がある営業担当者を入れておくこともよいでしょう。

HACCPチームと営業スタッフ

自社がHACCPに取り組んでいることを、対外的にアピールできるのは営業スタッフです。HACCPに取り組むことは、経営戦略として営業スタッフをチームメンバーまたはオブザーバーとして参加させることは必須といえます。